



## 2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年11月8日

上場会社名 小野建株式会社

上場取引所 東 福

コード番号 7414 URL <http://www.onoken.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小野 建

問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役専務管理統括本部長 (氏名) 小野 哲司

TEL 093-561-0036

四半期報告書提出予定日 2019年11月14日

配当支払開始予定日

2019年12月5日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	112,236	3.8	2,673	△3.5	2,753	△3.1	1,883	0.6
2019年3月期第2四半期	108,148	16.4	2,769	△6.6	2,841	△7.5	1,873	△12.3

(注)包括利益 2020年3月期第2四半期 1,754百万円 (△12.1%) 2019年3月期第2四半期 1,996百万円 (△11.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	86.17	—
2019年3月期第2四半期	86.81	79.03

(注)2020年3月期第2四半期における潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	153,241	69,302	45.2
2019年3月期	158,618	68,531	43.2

(参考)自己資本 2020年3月期第2四半期 69,302百万円 2019年3月期 68,531百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	30.00	—	45.00	75.00
2020年3月期	—	25.00	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	35.00	60.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

2019年3月期 中間配当金の内訳 普通配当 25円00銭 設立70周年記念配当 5円00銭

2019年3月期 期末配当金の内訳 普通配当 40円00銭 設立70周年記念配当 5円00銭

### 3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	239,553	3.2	6,201	△6.5	6,356	△4.9	4,408	△5.5	201.65

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P7「2.四半期連結財務諸表及び主な注記(3)四半期財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期2Q	21,859,712 株	2019年3月期	21,859,712 株
② 期末自己株式数	2020年3月期2Q	501 株	2019年3月期	501 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期2Q	21,859,211 株	2019年3月期2Q	21,577,993 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する主旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P2「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、米中貿易摩擦や日韓経済問題などを起因として世界経済は減速局面となるなどの影響を受け、景況感は足踏み状況となってきております。

このような環境の中、当社グループにおきましては、当社の主力販売先である建設関連業界は依然として堅調に推移しているものの、輸出関連業界の先行き不透明感の増大による需要の低迷が顕在化し、かつ、鉄鋼商品の国際マーケットでの市況下落の影響を受け、国内鉄鋼市況は弱含みで推移している状況の中で、収益確保に積極的に取り組んでまいりました。

業績につきましては、売上高は、鉄鋼商品販売事業における鉄鋼商品販売数量の増加、前年同期に比べ鉄鋼市況が上昇したこと、ならびに建材商品販売事業・工事請負事業の増加により1,122億36百万円（前年同期比3.7%増）となりました。損益面におきましては、鉄鋼商品販売において今期に入り鉄鋼市況が下落局面に転じたことから、在庫商品の販売を中心に利益率が低下したことを主要因として売上総利益が減少し、営業利益26億73百万円（前年同期比3.5%減）、経常利益27億53百万円（前年同期比3.1%減）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

#### ①九州・中国エリア

前年同期に対し、鉄鋼商品販売数量の増加ならびに建材商品販売事業および工事請負事業の増加により売上高は増加いたしました。損益につきましては、鉄鋼商品販売事業の利益率の低下の影響で減益となりました。その結果、外部顧客への売上高は648億94百万円（前年同期比11.7%増）、セグメント利益は17億80百万円（前年同期比4.8%減）となりました。

#### ②関西・中京エリア

前年同期に対し、鉄鋼商品販売数量の減少により売上高は減少いたしました。損益につきましても鉄鋼商品販売数量の減少、利益率の低下、さらには、滋賀営業所開設による人件費の増加ならびに減価償却費の増加によりセグメント利益は減少いたしました。その結果、外部顧客への売上高は263億66百万円（前年同期比2.6%減）、セグメント利益は4億51百万円（前年同期比30.6%減）となりました。

#### ③関東・東北エリア

前年同期に対し、鉄鋼商品販売数量の減少により売上高は減少いたしました。損益につきましては鉄鋼商品販売事業の鉄鋼商品販売数量の減少と利益率の低下により売上総利益は減少したものの、貸倒引当金繰入額の減少により増益となりました。その結果、外部顧客への売上高は209億75百万円（前年同期比8.6%減）、セグメント利益は3億76百万円（前年同期比48.4%増）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産の部)

前連結会計年度末比53億76百万円減少し、1,532億41百万円となりました。主な要因は、未完成工事の増加による前渡金は増加したものの、売上に対する債権が減少したことによるものです。

#### (負債の部)

前連結会計年度末比61億47百万円減少し、839億39百万円となりました。主な要因は、未完成工事の増加による前受金は増加したものの、仕入に対する債務が減少したことによるものです。

#### (純資産の部)

前連結会計年度末比7億70百万円増加し、693億2百万円となりました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益は増加したものの、配当金の支払いにより利益剰余金が減少したこと、ならびにその他有価証券評価差額金が減少したことによるものです。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、当社グループの主要販売商品であります鉄鋼商品の市況の動向や販売状況を鑑み、2019年11月8日に第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想を修正いたしました。

詳細につきましては、2019年11月8日に公表いたしました「第2四半期の業績予想と実績との差異及び通期業績予想の修正並びに配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,725	5,197
受取手形及び売掛金	63,118	57,091
電子記録債権	9,306	7,620
商品及び製品	22,645	20,165
原材料及び貯蔵品	2,077	2,149
前渡金	5,769	10,602
その他	159	300
貸倒引当金	△128	△126
流動資産合計	108,673	103,001
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	17,451	16,978
土地	26,296	26,908
その他(純額)	4,160	4,480
有形固定資産合計	47,908	48,367
無形固定資産		
のれん	0	—
その他	185	167
無形固定資産合計	185	167
投資その他の資産		
その他	2,768	2,636
貸倒引当金	△918	△931
投資その他の資産合計	1,850	1,705
固定資産合計	49,944	50,239
資産合計	158,618	153,241
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	29,759	25,692
電子記録債務	15,652	14,302
短期借入金	35,951	31,763
1年内返済予定の長期借入金	294	256
未払法人税等	1,072	939
前受金	2,834	5,931
賞与引当金	1,010	1,267
その他	1,476	1,797
流動負債合計	88,051	81,950
固定負債		
長期借入金	287	178
役員退職慰労引当金	594	615
退職給付に係る負債	704	729
資産除去債務	164	165
その他	283	300
固定負債合計	2,034	1,988
負債合計	90,086	83,939

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,299	4,299
資本剰余金	4,302	4,302
利益剰余金	59,589	60,490
自己株式	△0	△0
株主資本合計	68,191	69,091
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	305	192
繰延ヘッジ損益	3	2
退職給付に係る調整累計額	30	15
その他の包括利益累計額合計	339	210
非支配株主持分	0	0
純資産合計	68,531	69,302
負債純資産合計	158,618	153,241

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	108,148	112,236
売上原価	98,462	102,897
売上総利益	9,685	9,338
販売費及び一般管理費	6,916	6,664
営業利益	2,769	2,673
営業外収益		
受取利息	3	1
受取家賃	32	32
助成金収入	1	18
その他	79	79
営業外収益合計	116	132
営業外費用		
支払利息	14	17
売上割引	25	30
その他	4	4
営業外費用合計	44	52
経常利益	2,841	2,753
特別利益		
固定資産売却益	18	12
特別利益合計	18	12
特別損失		
固定資産除却損	1	0
固定資産売却損	—	0
投資有価証券評価損	—	0
特別損失合計	1	1
税金等調整前四半期純利益	2,858	2,765
法人税等	984	881
四半期純利益	1,873	1,883
非支配株主に帰属する四半期純利益	0	0
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,873	1,883

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	1,873	1,883
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	11	△112
繰延ヘッジ損益	103	△1
退職給付に係る調整額	7	△15
その他の包括利益合計	123	△129
四半期包括利益	1,996	1,754
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,996	1,754
非支配株主に係る四半期包括利益	0	0



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。